



梅雨時期は スリップ事故に 要注意!

雨の日は、窓ガラスが曇り、視界が悪くなるうえ、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なり、危険度が高くなります。
普段よりも速度を落とし、車間距離を十分とって慎重に運転しましょう。

停止に必要な距離は、
乾燥した路面に比べて
1.5倍 必要です!



運転前・運転中の安全チェック!

- ① 運転前にタイヤの溝、ワイパーの作動状況、ウォッシュ液の有無等の点検をしよう!
- ② 自分の車を目立たせるため、ライトの点灯は早めに!
- ③ 速度を落とし、車間距離を十分とろう!

ハイドロブレーニング現象に注意!

水のたまっている道路を**高速で走行**していると、タイヤ溝の深さや水たまりの状態によってタイヤの排水作用が限界を超え、タイヤが水に浮いた状態となり、**ハンドル・ブレーキ操作が効かなくなる現象**のことを「ハイドロブレーニング現象」といいます。

この現象は、水上を滑走するような感覚になり、慌ててブレーキやハンドル操作を行うと、車のバランスが崩れ、横転するような重大事故になることもあります。**雨の日は特に速度を落として運転しましょう!**

